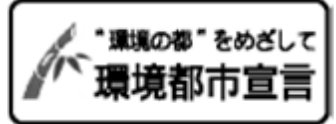


環境の都ニュース

2014. 3. 1 NO. 74



発行：長岡京市
環境の都づくり会議
発行責任者：江川 宗治
編集担当者：山本 雅夫

長岡第四小学校が低炭素杯2014で「最優秀次世代賞」を受賞！

低炭素杯とは？

2月14日・15日に東京ビッグサイトで開催された『低炭素杯2014』において、長岡第四小学校が「最優秀次世代賞」を受賞しました。

『低炭素杯』とは、低炭素社会づくりを目指して活動する学校・NPO・企業がプレゼンテーションを通じて全国に活動を発信し、学び合い、連携の輪を広めるための大会です。今年度は全国から1620団体がエントリーし、厳しい審査を経て選出されたファイナリスト41団体が、日本一を目指してプレゼンテーションを行いました。

どんな取組？

長岡第四小学校の発表テーマは“目指せ1トン！～地域を動かした子どもたちの合言葉～”です。この取組は、授業中の児童のアイデアから生まれ、収集や焼却の過程で多くのCO2を出す生ごみに注目し、家庭の生ごみを持ち寄り、小学校のコンポストで処理することで、ごみの減量とCO2削減を図ろうという取組です。

コンポストでできた堆肥は学校農園で使用し、収穫された野菜は給食の食材となって子ども達のもとに届きます。究極の地産地消の実現です。

当初は1クラスだけで始まった小さな取組は、「目指せ1トン！」を合言葉に、保護者や地域の方々を動かし、小学校を拠点に家庭や地域を巻き込んだ活動へと拡大しました。

今年1月には目標の1トンを達成し、取組の中心となってきた6年生の卒業を間近に控え、下級生と地域の方々で力を合わせて引き継いでいこうと、週2回の生ごみ集めを続けています。

いざ、本番！

プレゼンテーション当日、あいにくの大雪で到着の遅れた児童たちでしたが、本番のステージでは、さすが6年生！協力していただいた方々への感謝と下級生への思いを込めた見事なプレゼンテーションで、会場を魅了してくれました。

受賞した「最優秀次世代賞」は、次世代を笑顔にする活動として、楽しく発表した点で最も優れていると審査された団体に贈られる賞です。

長岡第四小学校がこのような大舞台で全国に発信し、素晴らしい賞を受賞できたことは、“環境の都”を目指す長岡京市にとってまた一つ大きな励みとなりました。

あたたかく、地道に活動を支えてくださった保護者のみなさん、地域のみなさんへの感謝の気持ちと、これからを担う子どもたちへの期待がいつそう高まりました。

今回、裏方として関わらせていただいたことは、私にとっても貴重な経験となりました。この感動を今後につなげるべく、これからも地域に根差した活動でステップアップ・チャレンジを推進し、長岡京市の環境づくりを盛り上げていきたいと思えます。

長岡京市環境政策監環境政策担当 渡辺まどか



6年生8人による発表の様子



生ごみはタッパーに入れて持てきます。



コンポストに入れる前に生ごみの重さを量ります。



平成25年度第4回西山ファミリー環境探検隊報告

期日：平成26年2月2日（日） 主催：西山森林整備推進協議会
 参加者：総計40名 ・ファミリー探検隊参加者・・公募参加者：親子9名（子ども5名）、スタッフ10名（市役所西山協議会）、環境の都づくり会議3名、里山再生市民フォーラム1名、鳥講師（新留さん、下村さん）、乙訓の自然を守る会1名、おとくにパオ（はれザウルス）参加者15名（子ども11名）、スタッフ6名

今回のテーマは「冬も探検～鳥博士になろう」、場所は光明寺裏の放生池広場です。NPO法人おとくにパオさんと共催、全面で協力いただきました。観察指導は乙訓の自然を守る会の新留さん、下村さんです。

午前：空模様が心配で、朝の9時ごろは小雨が降っていました。グリーンハウスに9時30分集合、幸いにも10時の出発の時には雨は上がりました。2班編成で出発。鳥の記録カード（鳥36種類チェック式）が表紙の観察手帳（A5版7ページ）を首にかけて歩きます。観音池でカイツブリ、メジロ、谷田池のところでシメ、イカルなど計10種類ほど観察できましたが、残念ながら鳥たちも雨で出足が悪かったです。でも先生方が鳥の姿をすばやく捕らえて、スコープで見せてくださるのには、皆感心しましたし、カケスのギャーギャーという悪声は印象に残ったようです。11時10分放生池（ほうじょういけ）到着、先発班が準備されていたかまどで、シカ肉カレーにとりかかります。男の子はかまどに炭やダンボール片をくべます。大なべ二つ。みんなが持ち寄ったカレーの具材と水をだす、シカ肉を切る（男の子が熱心）、いためたシカ肉を入れる、カレールウを入れる、かき回す、一つ目のかまどなべは甘口、二つ目のバーベキューかまどなべは辛口です。まず、フライパンで焼いたシカ肉を食べました。おいしい。いける。お待ちどうさま12時過ぎカレーができました。みんなお代わりしました。ほぼ完食。



午後：昼食後は親子そろって、バードコールづくりです。10cmほどに枝をきり、ドリルで穴を空け、金属のボルトを差し込んでキュウキュウという鳥の声に似たまさつ音を出します。乾燥した枝だったせいか、案外うまくいきました。皆ができたところで、真似をする鳥たちの鳴き声を勉強しました。・・<写真上>新留さんのボイスレコーダーでウグイス、トビ、メジロ、カッコウ、などの声を聞きました。3度目ぐらいまではだまされて寄ってきますが、4度目にはだめだそうです。皆でバードコールを鳴らしました。パオ今林さんがロープワークでブランコ、綱渡りをつくり、これで子どもたちは大遊びしました。広場にひきあげ、ダッチオープンで調理していただいたシカ肉ステーキを食べました。やわらかくて、おいしくすぐになくなりました。コショウ、香草で下ごしらえしたシカのかたまり肉を、卵白身のホイップクリームで粘性をつけた塩で包み、ダッチオープンで釜むしするグルメです。女性の方は興味深々、ごちそうさまでした。今日は雨のち晴れの天気で、一時的に暖かくなり、日中の気温は15度Cまで上がりました。スタッフのみなさまお疲れさまでした。今回で25年度の西山ファミリー環境探検隊は終了です。来年度も実施予定で、広報で募集されますのでよろしく願いいたします。

報告 里山再生PJT 加藤



ライオンです

シカです

園児です

ゆりかご保育園さんにシカを！

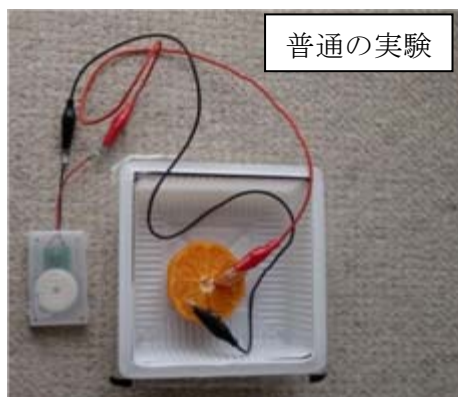
竹あそび用に作成、使用した（竹で作った）シカをゆりかご保育園さんに引取っていただきました。2月24日（月）に瀧さんと二人で運び込み、中庭のライオンの横におきました。園児からはトナカイ？、ウマ？と言われました。<左上写真> 里山再生PJT 加藤



環境科学あそび：果物・野菜が電池に！

エコチームは小学校の放課後子ども教室（すくすく教室）で「環境科学あそび」を行っています。小学生、特に低学年の児童は、科学の実験が大好きです。

25年度は、3つの小学校で合計13回開催し約300名の児童が実験を楽しんでくれました。最初に実験の手順を伝え、2回目からは自分の発想で



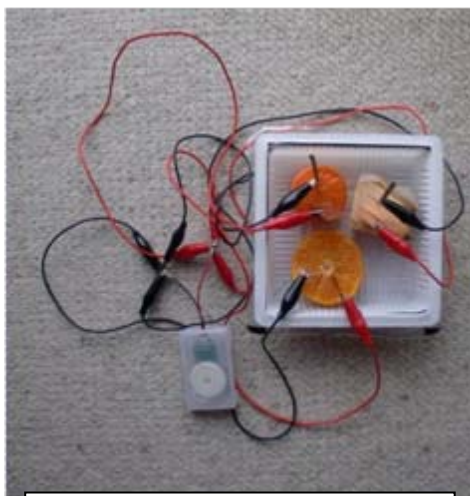
普通の実験

どんどん実験を進めます。先日は、果物や野菜と金属片を使って電気を作り、電子オルゴールを鳴らす実験でした。2年生のある児童は実験道具を3セットも使い、大きな音でオルゴールを鳴らすことを見つけました。よほどうれしかったのか、部屋中の子供たちに出来栄を披露して回り、他の子どもたちも面白がってどんどん実験に加わってくれました。

子どもたちが喜んでくれるとこちらもうれしくなり、やりがいを感じます。

あなたも一度この楽しさを味わってみませんか。4ページのプロジェクト連絡先

までご連絡下さい。お待ちしております。 エコチーム PJT 田原



児童が考えた、オルゴールが大きな音で鳴る実験



花を咲かそうPJT



おかげでよい年が迎えられました

H25年12月26日 13時30～15時30 緑の協会にて、花を咲かそうPJTにとって恒例となった「正月飾り作り」を実施しました。今回は他の活動サークルメンバーにも参加していただき、総勢25名で40基を完成。飾りつけの花々も（葉ボタン、松、竹、南天、梔子（クチナシ）、笹、稲穂、他）と十分準備でき、中央の3本竹は節部を斜め切りして笑い顔を表現しました。ベテランが予めサンプルを作り初心者に指導する手順で、ワーワーキーンなごやかな中、見事な「飾り」が次々と完成。BGMもあり、おやつをいただきながら互いの品評会のひとときも持てました。銘々の作品は持ち帰り、一部は世話になっているところに寄贈しました。その後6名の女性が新たに私たちの「緑のサポーター」に入会していただきました。手がける花壇もますます華やか（にぎやか？）になることでしょう。

花を咲かそうPJT 奥西



竹林再生PJT



～金ヶ原”憩いの森” 3月末完成を目指す！～

平成23年度より3年計画で始め、今年で3年目です。一期、二期で木を切って、場所づくりから始め、実のなるミカン、柿、栗や桜の木の植樹も終わり、今年はすくすく教室の子供たちに怪我せずに楽しんでもらえる遊び場づくりに取り組んでいます。

- (1) 丸太を切って埋め込んだ”飛び木通路”、
- (2) 立木を利用した大きく揺れる”ぶらんこ”、
- (3) 立木の上にロープを吊り下げ、ぶら下がって遊べる”ターザン遊び”ができる場所、
- (4) 不要となったテニスネットを利用した”ハンモック”、
- (5) テニスネット一枚をそのまま使ったネットの上を歩く”ネット通路”、
- (6) 森の急斜面を歩く”登山路”、

他にも雨水を利用してメダカを育てる水槽も作っています。毎月曜日の午前中を作業日として汗を流しています。お世話頂ける方がありましたら大歓迎です。竹林再生PJTまでお電話をお願い致します。 竹林再生PJT 湯川圭造



(1) 飛び木通路



(2) ぶらんこ



(4) ハンモック



(5) ネット通路



河合家の保存に竹炭を

平成26年1月7日にビオトープで焼いた竹炭を約30Kg河合家に贈呈しました。河合家は粟生地区にあって国登録有形文化財に指定された民家であり、床下に竹炭を撒いてもらうことにより、家の湿気取りや、消臭剤として効力を発揮することにより家の長期保存には有効かと思えます。

写真右・・・河合家のご主人にじきじき手渡し、大変喜んでもらえました。ビオトープとして今年最初の初仕事になりました。

ビオトープPJT 小根田



環境教育PJT

主催：長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト

長岡京市立中央公民館

後援：長岡京市

入場無料

第72回 環境教育ミーティング

(平成25年度のテーマ：環境とエネルギー)

今回のテーマ：「食品ロスの削減」 まずは完食！！ でも次は・・・～地球にやさしい生ごみ処理～

日時：平成26年3月20日(木) 夜7～9時

会場：長岡京市立中央公民館 2階・講座室

講師紹介：片山洋子さん(京都府生活学校連絡協議会 会長、長岡京市生活学校運営委員長)

太田信彦さん(長岡京市立長岡第四小学校 校長)

お話の内容

食品ロスの約半分は、一般家庭からのものであり、京都府生活学校・生活会議は、「食品ロス削減」について研修を進めてきました。そんな時、地元の小学校で家庭の生ごみを集めて地球にやさしい生ごみ処理をしていることを知りました。子どもたちが考え行動に移した取組を紹介します。共に考えましょう。

★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内容	連絡先	TEL
里山再生PJT	里山再生	加藤 克巳	951-0933
環境教育PJT	環境教育	西村 日出男	952-3718 FAXも同じ
		E mail : sun246ra@mbx.kyoto-inet.or.jp	
エコチームPJT	地球温暖化防止	田原 誠一郎	953-1696
ビオトープPJT	ビオトープ	小根田 勝信	957-4081
花を咲かそうPJT	花を咲かそう	湯川 智子	952-5505
竹林再生PJT	竹林再生	湯川 圭造	090-8759-1757
環境の都づくり会議 代表	活動全般	江川 宗治	957-6169 FAXも同じ
		E mail : egawam@kyoto.zaqa.ne.jp	

事務所：多世代交流ふれあいセンター内 (〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1)

環境の都づくり会議のホームページを作りました。各PJTの活動内容と写真などが有ります。是非ご覧ください。
アドレス＝ <http://kankyonomiyako.jimdo.com/>

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。協賛金：一口年間1000円(一口以上) あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは上記プロジェクトの連絡先へ下さい。

編集後記：野生のシカを筆頭に、増えすぎて保護を見直す事態が起きています。都会ではハトやカラスですが、とにかく保護から、人間との妥協・共存可能レベルに調整管理する方向にです。植物を“自然＝放置”から“調整管理＝里山”に似ていると思います。環境問題も価値観・基準・手法は逐次変わることを意味するものと思います。